

せせらぎ



平成30年10月15日発行 No.5

前の時間までに、「 $8+3$ や $9+4$ 」など、たされる数の方が大きい場合の計算を学習してきました。今回の授業は、たす数の方が大きい場合の計算「 $3+9$ 」の仕方について考え、さくらんぼ計算をして10のまとまりを作って計算したり、100珠そろばんを使って答えを導き出したりしていました。

校内研究授業 10/10 (水)

1年算数「たしざん」

指導者

ねらい「1位数どうしの繰り上がりのあるたし算で、被加数を分解して計算する方法がわかる。」

問題「功子先生が赤い実を3個拾いました。圭祐先生が9個拾いました。赤い実は合わせて何個ですか。」子供たちから「 $3+9$ 」の式が出され、今日の学習のめあてを考えました。

めあて
「大きいかずがうしろにあるけいさんはどうやるの。」

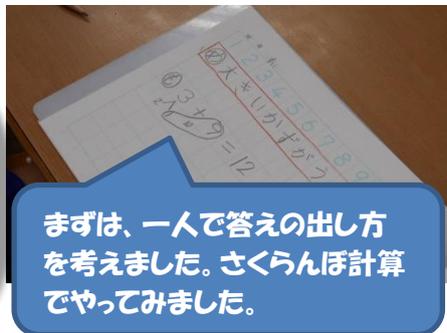
つかむ

1. 「めあて」をもと
2. 「見通し」をもと



追究する・深める

3. 自分で解いてみよう
4. ともだちと相談しよう
5. みんなで話し合おう



まずは、一人で答えの出方を考えました。さくらんぼ計算でやってみました。



100珠そろばんを使って計算の仕方を発表してくれました。

まとめる

6. 「まとめ」をしよう
7. 問題を解いてみよう
8. 「ふりかえり」をしよう



たされる数をさくらんぼにする方法と、たす数をさくらんぼにして10のまとまりを作る方法が出され、どちらが計算しやすいか話し合いました。



まとめをしたあと、「 $4+9$ 」の問題に取り組みました。

たす数の方が大きな「たしざん」は、「前の数をさくらんぼにすれば、計算しやすい。」ということがわかりました。

授業研究会では、「さくらんぼ計算をして10のまとまりを作り、いろいろな計算の仕方に意欲的に取り組んでいた。」という意見が出されていました。

